

2019年4月—中央大学に26年ぶりに新学部が誕生—

国際社会を牽引するリーダーを育てる2つの学部—

国際経営学部が多摩キャンパスに開設決定。

国際情報学部が市ヶ谷田町キャンパスに開設予定（設置届出中）。

■ 国際経営学部 国際経営学科（2019年4月開設）

イギリスのEU離脱、中国・ASEAN諸国の経済勢力の伸長、アメリカの保護主義の台頭など、グローバルビジネスの環境が激変する中、企業活動を通じてグローバル共生社会の構築に貢献することができる人材が求められています。

国際経営学部（定員300名）が目指す、育成する人材像は、ビジネスとエコノミクスの幅広い知識を育てるに加え、高度な英語運用能力と国際的ビジネス感覚を身に付けた、グローバルビジネスリーダーです。

国際経営学部における中央大学初の試みが三つあります。一つめは、設置科目の7割以上が外国語（主に英語）で行われ、卒業に必要なすべての単位の修得が外国語（英語）で可能になるという点です。最先端の国際経営学をビジネスの公用語である英語で学ぶことにより、グローバルビジネスリーダーの素養を養います。

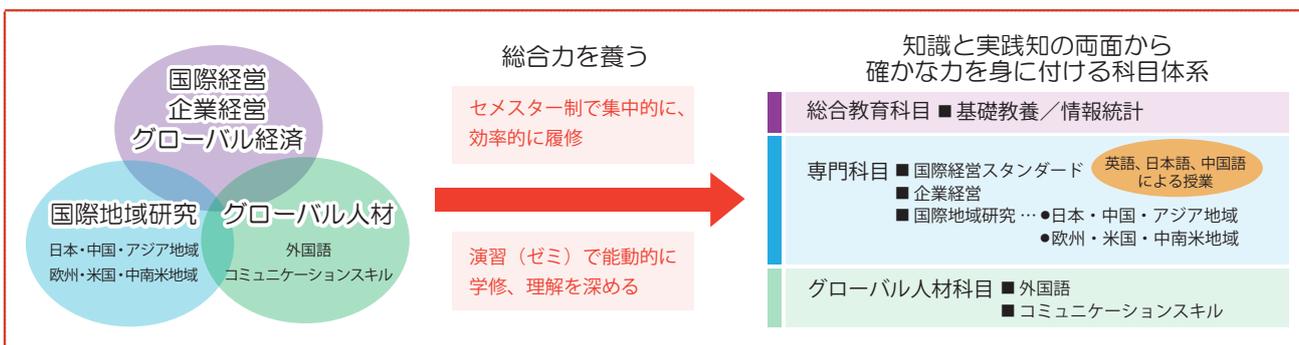
なお、学部として専門科目（経営学）を英語で教えるという取り組みは、日本でも中央大学が初めてとなります。

二つめは、海外短期留学（3～4週間を予定）を1年次必修とした点です。海外で異文化に触れ、また留学先でも経営学を学ぶことにより、4年間の学びのモチベーションを高める機会となることが期待されます。

三つめは、秋入学を実施するという点です。秋入学は世界の主流であることから、高校を卒業したばかりの世界中の学生が、春入学を待つことなく入学することができます。

このように、学部内に「内なる国際化」を実現し、グローバルビジネスリーダーを目指す学生たちが切磋琢磨できる環境を整えています。

国際経営学部・学びの概念



■ 国際情報学部 国際情報学科（設置届出中）

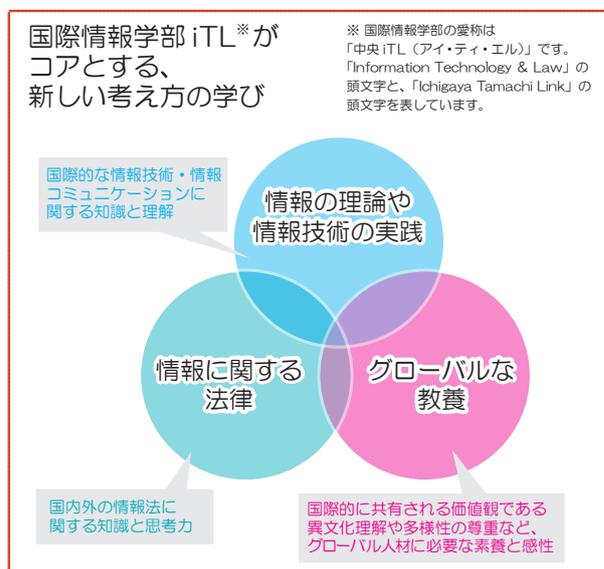
ICT技術が進化し、AI（人工知能）等の新しい技術によって、これまで「できなかった」ことが「できる」ようになっていきます。しかし、技術の進化で「できること」がすべて「行ってよいこと」とは限りません。

時には技術の進度が速すぎるあまり、その技術がもたらすサービスが人々の価値観、社会通念や慣習を越え、人々に悪い影響を与えることもあります。

国際情報学部では、これらの技術が社会や人々に与える問題に対して、情報技術と、規制するルールや社会で活用するためのルールといった視点から解決策を導き、社会への実装を提案していきます。また、ルールを作るためには、それが社会に受容されるかどうかといった、国際的に共有される価値観や異文化の尊重等の視点も重要であると考えています。

情報の仕組み、情報の法律、および国際的に共有される価値観等の専門知識を学び、これらの視点を統合することによって解決策を導きだし、将来の変化にも柔軟に対応できる力を身に付けます。

国際情報学部・学びの概念



*掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。